

北海道駒ヶ岳の火山活動解説資料（平成 23 年 6 月）

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気などの表面現象の状況（図 1-①～③、図 3～5）

昭和 4 年火口の噴気の高さは火口縁上 10m 以下で、噴気活動は低調に経過しました。

・火口の熱の状況（図 1-③、図 2～3）

5 月 31 日～6 月 2 日に実施した現地観測では、昭和 4 年火口の熱活動に大きな変化は見られませんでした。そのほかの火口の状況にも特に変化は見られませんでした。

・地震及び微動の発生状況（図 1-④～⑥、図 6）

地震活動は低調に経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 7～10）

GPS 連続観測では、特段の変動は認められませんでした。
山頂付近の GPS 繰り返し観測では 2004 年以降昭和 4 年火口付近の膨張を示すと考えられる伸びが認められていましたが、2006 年秋以降概ね横ばいとなっています。

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 23 年 7 月分）は平成 23 年 8 月 4 日に発表する予定です。

※ 資料は気象庁のほか、北海道大学、森町のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平 20 業使、第 385 号）。

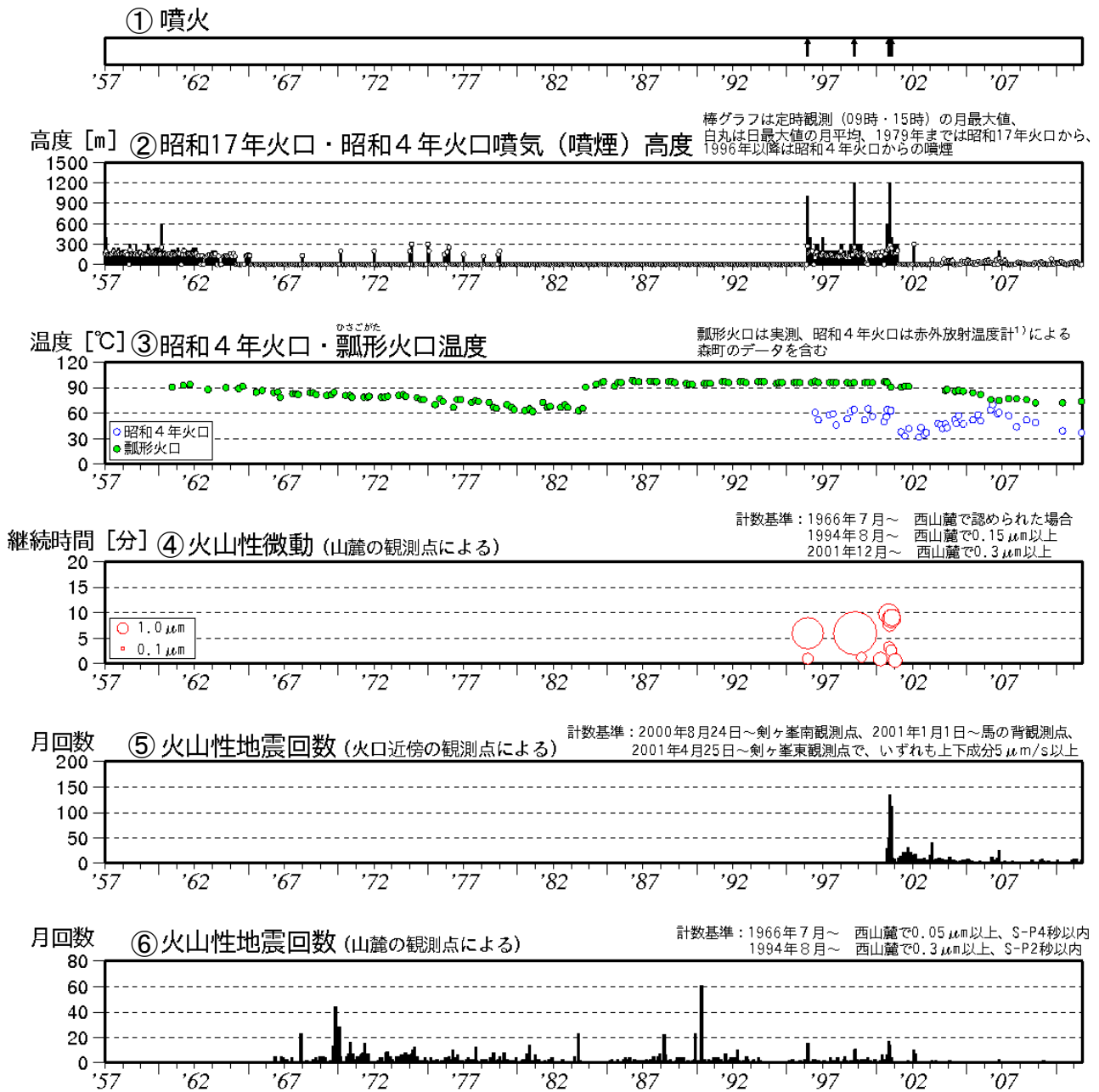


図 1 ※ 北海道駒ヶ岳 長期の火山活動経過図（1957 年 1 月～2011 年 6 月）

1) 赤外放射温度計や赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

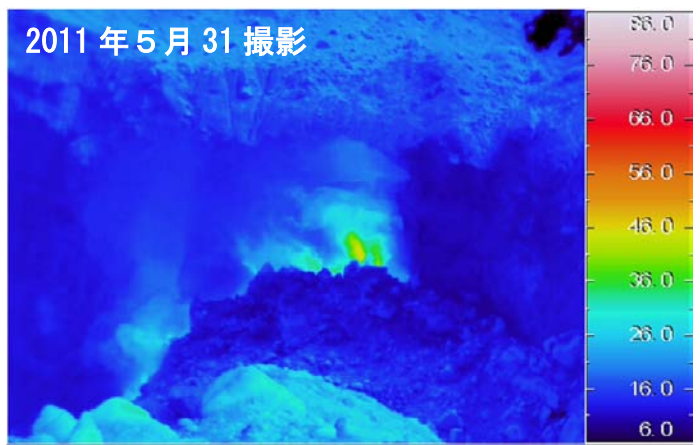
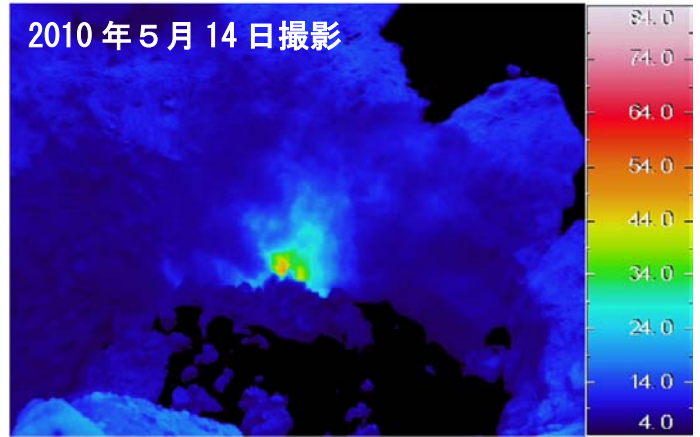


図 2 北海道駒ヶ岳 赤外熱映像装置¹⁾による昭和 4 年火口内の地表面温度分布
(図 3 の①より撮影)

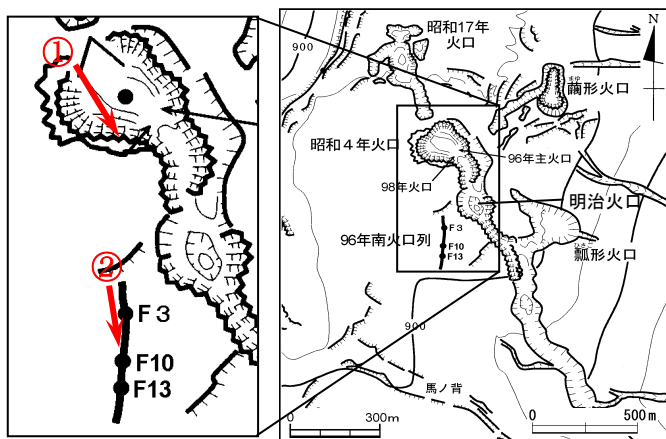


図 3 北海道駒ヶ岳 火口周辺図



図 4 北海道駒ヶ岳 96 年南火口列 F10 噴気孔の状況 (図 3 の②より撮影)



図 5 北海道駒ヶ岳 山頂火口原の状況（6月26日、鹿部公園南東遠望カメラによる）

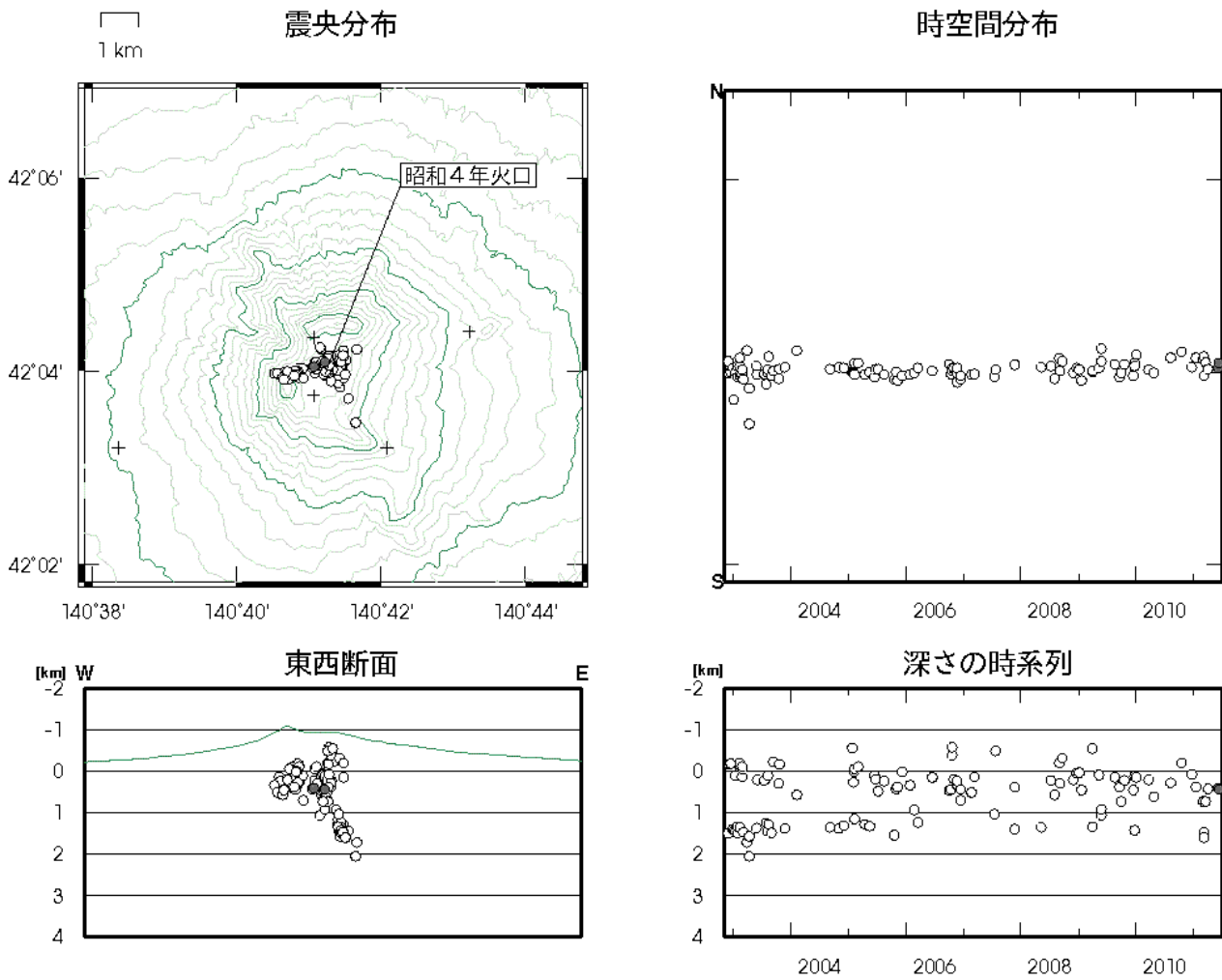


図 6* 北海道駒ヶ岳 火山性地震の震源分布(2002年11月～2011年6月)

- 印：2002年11月から2011年5月の震源
- 印：2011年6月の震源
- +印：地震観測点

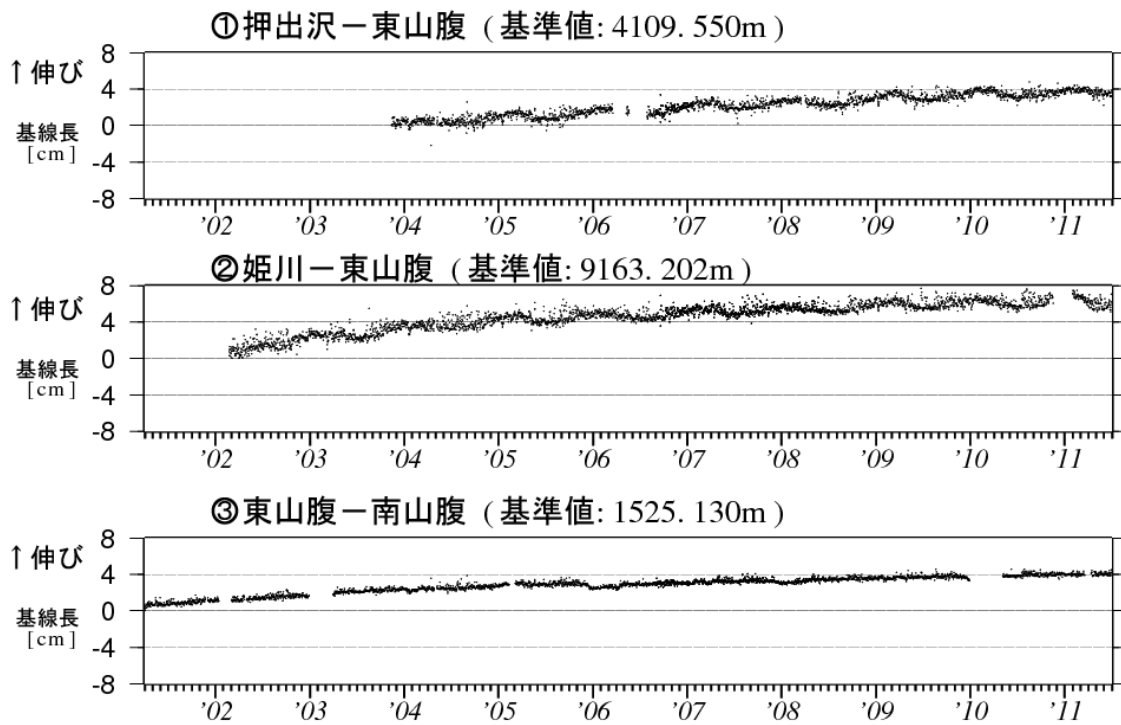


図 7 北海道駒ヶ岳 GPS 連続観測による基線長変化（2001 年 4 月～2011 年 6 月）
 グラフの空白部分は欠測
 GPS 基線①～③は、図 8 の①～③に対応しています。

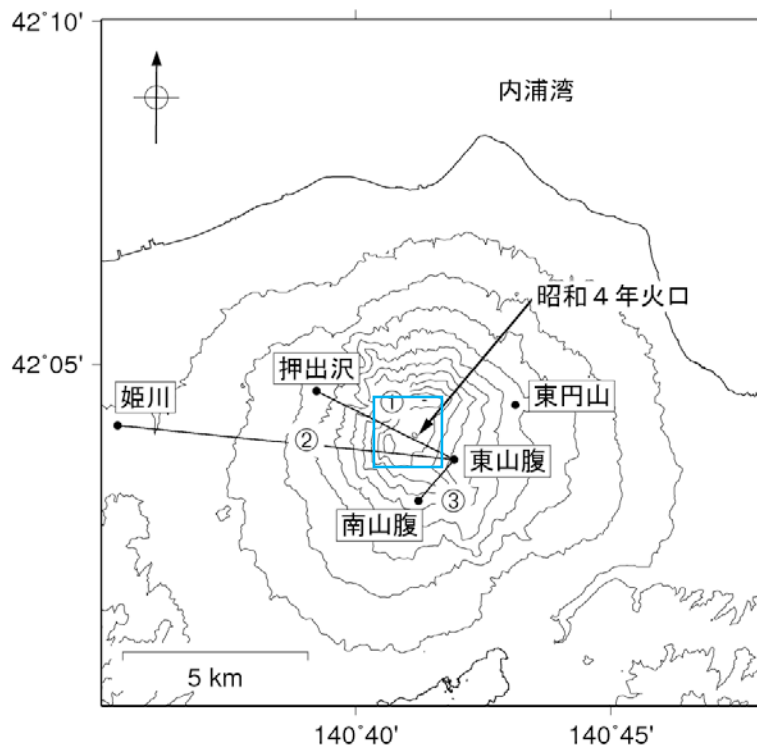


図 8 北海道駒ヶ岳 GPS 連続観測点配置図

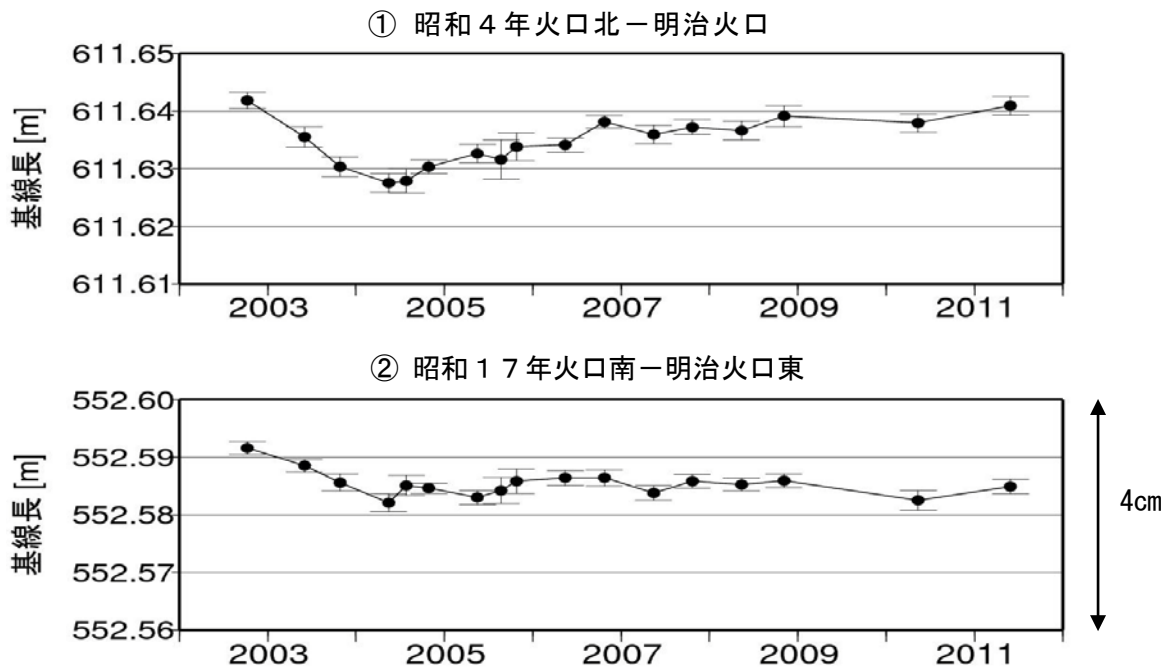


図 9 北海道駒ヶ岳 GPS 繰り返し観測による基線長変化（2002 年 9 月～2011 年 6 月）
GPS 基線①～②は、図 10 の①～②に対応しています。

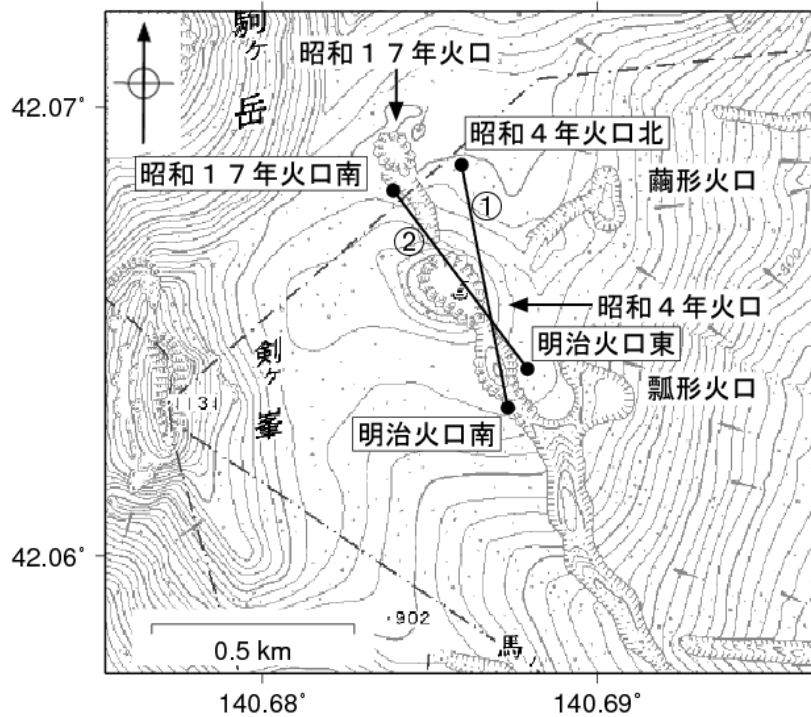


図 10 北海道駒ヶ岳 GPS 繰り返し観測点配置図（図 8 の□を拡大）

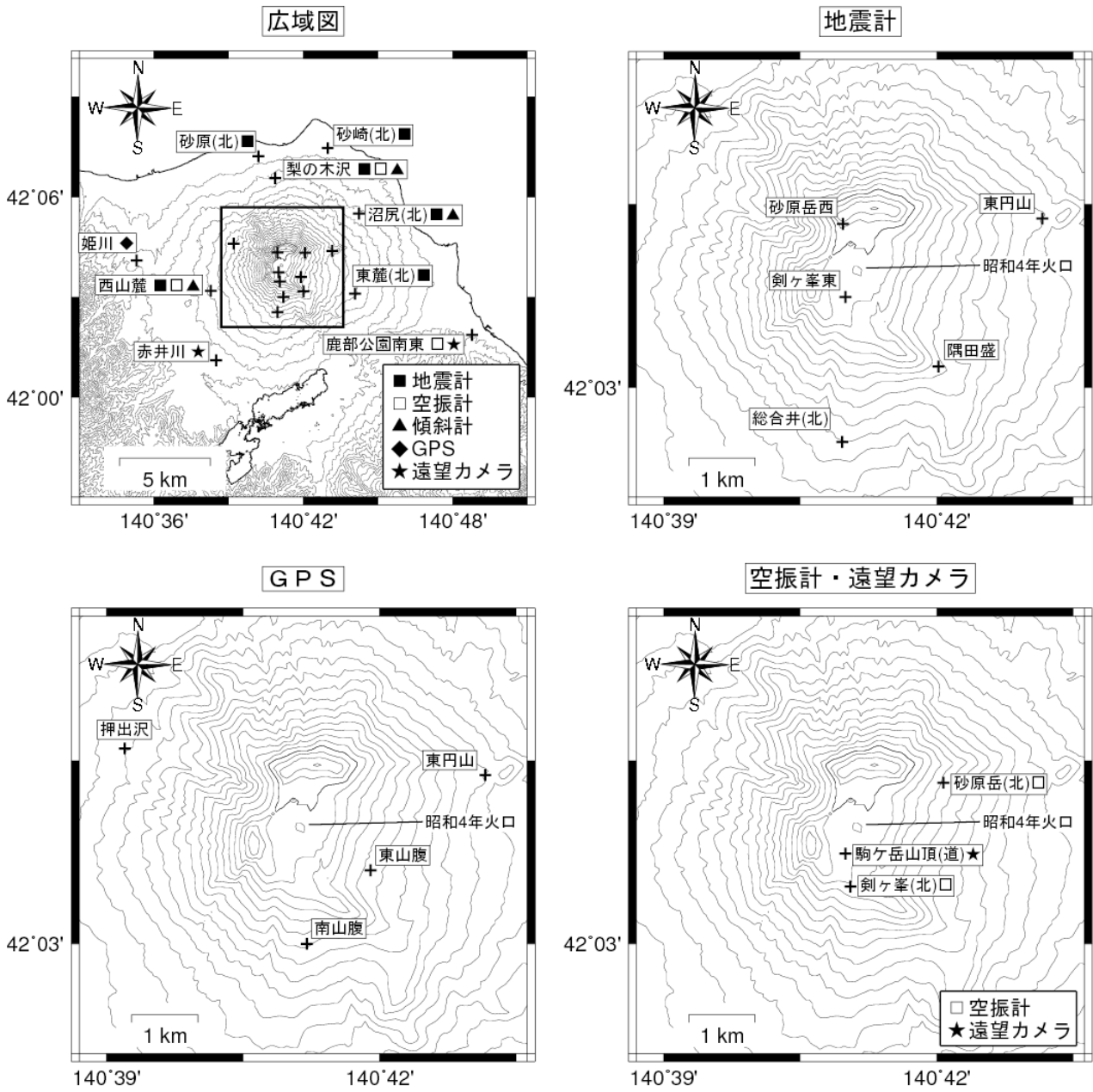


図 11 北海道駒ヶ岳 観測点配置図

＋は観測点の位置を示す

他機関の観測点には以下の記号を付している

(北) : 北海道大学